

平成30年度東海北陸近畿地区母子保健事業研修会開催要領

1 目的

時代の変化に伴う核家族化、地域のつながりの希薄化等による社会全体の子育て力の低下があるが、依然として母親中心の育児、母性神話に縛られているという意識の問題も深く、産前産後の女性の身体的・物理的な負担は大きく子育てに影響を及ぼしている。

このような背景をもとに、妊娠・出産・子育ての不安や負担が増大しており、特に、児童虐待に至る事例等では、母親の産後うつ病や精神的な疾病を背景としたものも少なくなく、多機関連携による支援体制の整備が喫緊の課題となっている。

このため、虐待の予防的な関わりを目指し、子どもと家族の出会いの時期である周産期を、多機関が連携していかに支援するかを考える契機として研修会を開催する。

2 テーマ 「子どもと家族の出会いの時期である周産期をいかに支えるか」

3 日時 平成30年10月19日(金) 10:00～16:30

4 場所 石川県女性センター (〒920-0861 石川県金沢市三社町1-4-4)

5 対象 保健師、助産師、看護師、その他母子保健に携わる関係者

6 定員 350名 先着順とし、定員になり次第締め切りさせていただきます。

7 主催 石川県、一般社団法人日本家族計画協会

8 後援 厚生労働省、公益社団法人日本助産師会

9 プログラム

9:30～10:00	受付
10:00～10:10	開会挨拶
10:10～10:50	行政説明「最近の母子保健を取り巻く状況」 厚生労働省子ども家庭局母子保健課
10:50～11:00	休憩
11:00～12:30	講演Ⅰ「周産期の母子交流ーふれあいが育む生き抜く力ー」 聖マリアンナ医科大学 名誉教授 堀内 勁 氏
12:30～13:20	休憩(昼食)
13:20～13:40	情報提供「健やか親子21×鷹の爪団 みんなで子育て大作戦」 一般社団法人 日本家族計画協会
13:40～14:40	講演Ⅱ「語ることと聴く器」 山王教育研究所 臨床心理士 橋本 洋子 氏
14:40～14:45	休憩
14:45～16:30	シンポジウム「多機関で支える一周産期における多機関連携のしくみづくりー」 座長：石川県南加賀保健福祉センター 所長 沼田 直子 氏 シポジスト：栗津神経サナトリウム 精神科医 秋山 典子 氏 加賀市子育て応援ステーション 所長 藪井 芳恵 氏 石川県中央児童相談所 児童福祉司 常盤 秀樹 氏 石川県少子化対策監室
16:30	閉会

石川県健康福祉部少子化対策監室 母子保健グループ (担当：岡部、泉)

FAX : 076-225-1424

Email : kosodate@pref.ishikawa.lg.jp